

よさのみらい会議 実施報告書

与謝野町産業振興会議 編

2022.08.31 [WED] 19:00-21:00 | 岩滝保健センター

実施概要

日時等 | 令和4年8月31日(水)
19:00-21:00

場 所 | 岩滝保健センター 会議室1・2

目 的 | 関係者の皆さんの声を第2次総合計画に反映すること【広聴】

対 象 | 与謝野町産業振興会議
(16人参加)

関係者の皆さんの元に出向いて、第2次総合計画の見直しについての意見を伺う、お出かけ版の「よさのみらい会議」を与謝野町産業振興会議において開催しました。

同会議では、現在「中小企業振興基本条例」の見直しに向けた議論を展開されており、その方向性を後期基本計画に反映させる必要があります。

また、令和3年度にまとめられた「地域経済分析報告書」では「地域内経済循環の実現」が今後の方向性として示されていることから、当日は、委員16人が3つのテーブルに分かれ、「地域にお金をまわす」をテーマにワークショップを実施し、地域経済活性化に向けて対話を深めました。



A

班

03

よさのみらい会議（産業振興会議編）ワークシート



班

地域にお金を回す活動

どのような活動を行っていますか

買い物
天橋立
ビーチサイドバー
Boatピク
地元産品
ホップの
六次産業化
米・野菜
は農家から
購入
地域の食材
が料理
店に出す
電気
(トラン
ジェン)
格安sim
(スマホ
のちどり)
地元産品
フリーマーケット
地域イベント
の開催

アイデア

町内にお金を回すアイデアを考えてみましょう

エネルギー
年産100%
ビレ
資産運用
財団
スタートアップ
事業者の
応援
ふるさと
納税
給付の1%
相当分も
くちくちポイント
まちぐるの
振興版
(町内の
企業連携)
事業者の
努力
教育
向けに
公共工事
を増やす
加税
ファーマーズの
規模拡大

アイデアを実現するには

わたしには何ができますか

～2026年

～2040年

税金

町内消費
を常に意識
すること

給付の1%
を地域振興
に活用

地元の企業
に投資

誰に協力してもらいたいですか

～2026年

～2040年

住民の
皆様

地元の
企業

外から
移住者

地元出身者
の人

どんな役場であつたらよいですか

～2026年

～2040年

ふるさと
納税
2億

住民と役場
の意見が
見える

柔軟な
組織

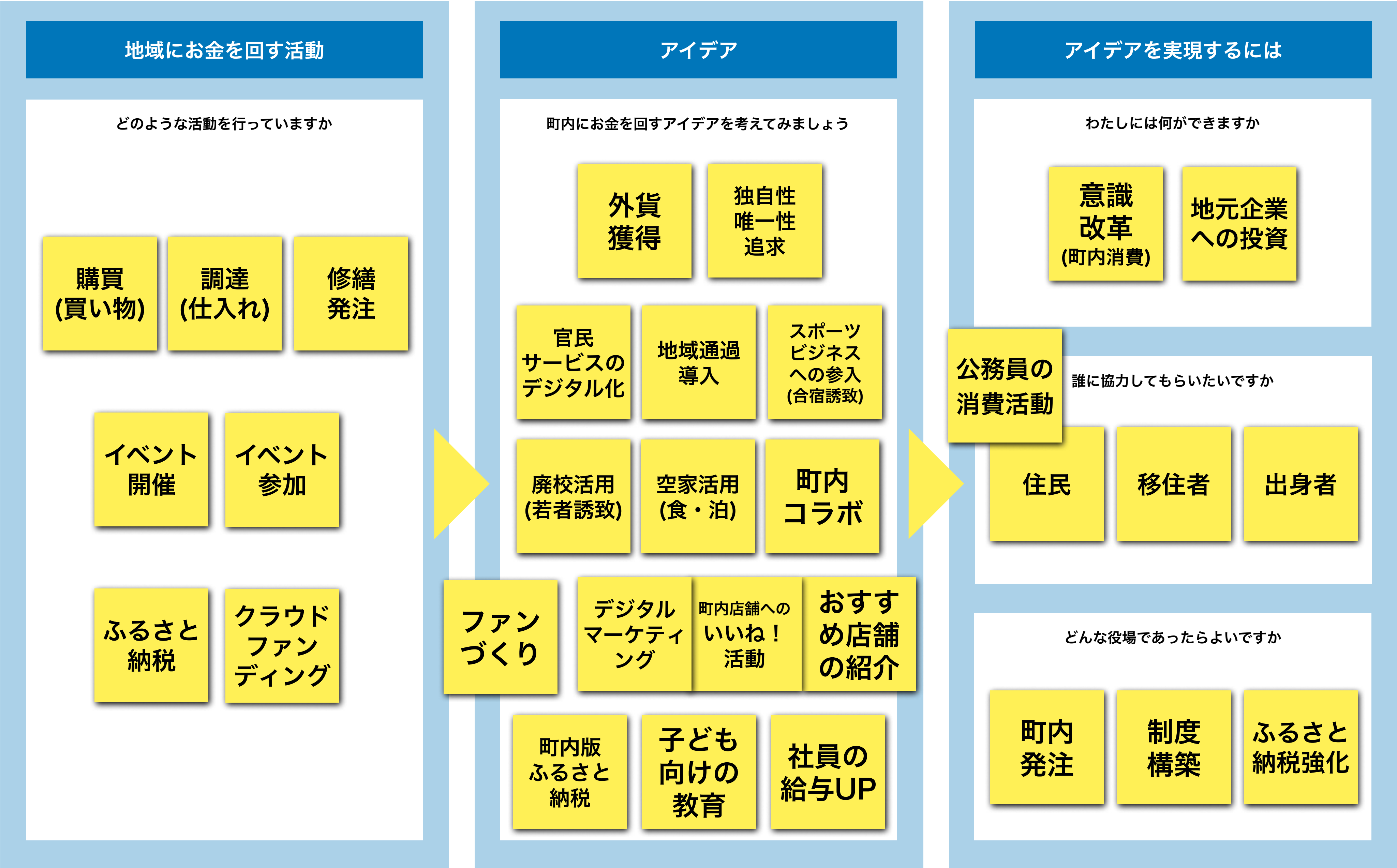
ビジョンを
示す

あだのな
役場

キーワード抽出

テーマ

地域にお金をまわす



主な意見・アイデア（施策との関連付け）

※1 まちグル
町内の生産者と飲食店が協業して実施しているグルメイベント

分野1-1 | チャレンジできる担い手の創出

- ・ スタートアップ事業者の応援
- ・ やる気のある企業への補助金支援
- ・ 行政は旗ふる人たちを支援・応援する（旗をふらない）
- ・ 子どもたちへの教育の推進（地産地消、地域内循環の意識づけ）

分野1-2 | 農業の振興

- ・ 与謝野町産100%ビールの製造で外貨獲得

分野1-3 | 商工業の振興

- ・ 与謝野にしかない選ばれる商品やサービス（高いクオリティ、本物）を提供し、ファンをつくる
- ・ 地域循環経済を町民一人一人が意識する
- ・ 生産者と飲食店（まちグル※1）のコラボ推進
- ・ ふるさと納税を増やすため、新商品（返礼品）づくり取組み強化
- ・ 商店街団体のポイントや地域通貨による給与の一部支給

主な意見・アイデア（施策との関連付け）

※1 クラウドファンディング

インターネット上で不特定多数の人に資金提供を呼びかけ、サービスや商品の趣旨・個人の想いに賛同した人から資金を集める方法

分野1-5 | 情報発信・流通ネットワークの強化を通じたビジネス環境の整備

- ・ 公助による事業者同士のマッチングや販売等の機会づくりを求む
- ・ 生産者×飲食店にとどまらない「まちぐる」の拡大版の展開（町内企業連携による商品開発等）
- ・ 町内通貨の導入
- ・ 官民が一体となったデジタルサービスの提供
- ・ クラウドファンディング※1プラットフォームの整備
- ・ デジタルマーケティング強化（町民による町内各店舗へのいいね！活動）

分野1-6 | 魅力ある働く場の創出

- ・ 社員の給料を上げて、前向きにする
- ・ 町在住の方を雇用する
- ・ 旧小学校の活用による若者の集まる場づくり
- ・ 空き家を活用したレストラン・民宿事業の展開

主な意見・アイデア（施策との関連付け）

分野2-1 | 魅力の認識及び「よさの者」づくり

- ・ 町民が必ず新店舗に行く、新商品を買ってみんなで応援する仕組みづくり
- ・ ふるさと納税を増やすため、新商品（返礼品）づくり取組み強化 ※再掲
- ・ 来訪者への町内店舗、魅力、コンテンツの紹介（クチコミ活動）

分野2-2 | 魅力を体験・体感できるコンテンツの開発

- ・ 生産者と飲食店（まちグル）のコラボ推進 ※再掲
- ・ 旧小学校の活用による若者の集まる場づくり ※再掲
- ・ 空き家を活用したレストラン・民宿事業の展開 ※再掲

その他

- ・ 地域内での再生可能エネルギーの取組推進
- ・ 地域内での資産運用の推進（財団等による運用）
- ・ 公共事業を増やし、町内事業者の受注機会を増やす
- ・ 町がまちづくりビジョンを示せば、企業は企業の役割を果たすのでは（商助）
- ・ 町民も町に寄付できる「町内版ふるさと納税」制度の構築